

メーデー宣言

われわれは本日、第80回愛媛中央メーデー大会を迎えた。

今日、労働者を取り巻く状況は厳しい。

世界的な金融・経済危機は日本経済に大きな打撃を与えている。昨年来の非正規で働く仲間に対する「派遣切り」、解雇、雇い止めの影響は深刻化し、今や非正規・正規を問わず多くの労働者の生活と雇用環境を悪化させている。

しかし、政府の政策、予算措置は不十分なものであり、労働者の雇用不安や生活不安に応え切れていない。政府は一刻も早く180万人以上の雇用創出をはじめ、国民・労働者のセーフティネット強化に係る政策を実現すべきである。

また、われわれ自らも、苦境に立たされている労働者のため、「雇用と就労・自立支援カンパ」活動を推進し、連帯の輪を広げていく。

これからの日本には、安定した雇用システムや安心できる社会保障の仕組み、内需主導型の経済システムの再構築、安心と安全、そして公正と連帯を重んじる社会の実現が求められている。

しかし、政策と政治の転換なしには公正と連帯を重んじる社会の展望は開けない。国民の信任を受けていない現政権は、速やかに国会を解散し、国民の信を問うべきである。

次期総選挙に対しては、われわれは、愛媛1区の「ながえ 孝子」さん、愛媛2区の「岡平 知子」さん、愛媛3区の「白石 洋一」さん、愛媛4区の「高橋 英行」さんの推薦候補予定者全員の必勝を期し、政権交代を勝ち取り働く者の政策を実現していく。

一方、世界は平和と安全を脅かす情勢が続いている。イラン・北朝鮮等の核開発や弾道ミサイル発射問題、不安定なイラク・アフガニスタン情勢、さらには北朝鮮拉致事件やビルマなどの人権弾圧も重大な課題である。

われわれは、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現、人権侵害救済のため、訴え、行動していく。

メーデーは国際連帯の日である。われわれは、「国際労働組合総連合」(ITUC)と連携し、世界の貧困や飢餓、環境破壊や人権侵害、紛争やテロをなくすため、また、「ディーセントワーク」(働きがいのある人間らしい仕事)の実現のために闘っていく。

今こそ、すべての働く者の連帯と、NPO・NGOとの連携で「平和・人権・労働・環境・共生」に取り組み、労働を中心とする福祉型社会と自由で平和な世界を実現することを宣言する。

労働者の使い捨てを許さない、公正と連帯の社会実現をめざす 第80回メーデー万歳!

2009年4月29日

第80回愛媛中央メーデー大会